

## 「水防災意識社会再構築ビジョン」始まる！

近年、全国的に地震や火山噴火や風水害等の自然災害が多発しています。

特に、H27年台風18号の影響で関東や東北地方では24時間雨量が観測史上最多を記録するなど記録的な大雨となる「平成27年9月関東・東北豪雨」が発生しました。

この豪雨により鬼怒川では観測史上最高水位を2箇所記録し、茨城県の常総市では堤防が決壊しました。この浸水により多数の孤立者が発生し約4,300人が救助されるなどの大きな被害が発生しました。

**私たちが住む肝属川においても大雨が降り大きな被害が発生する可能性があります。**

このため、洪水から身を守るためには、**事前に防災マップ等で浸水が想定される区域や避難場所等を確認しておく、その上で大雨の際には降雨や河川水位の情報や、自治体から出される避難勧告等をもとに安全を確保しながら早めの避難が大切**となります。

また、国土交通省では、「H27年関東・東北豪雨災害」を踏まえ、「**水防災意識社会再構築ビジョン**」を策定しました。平成32年度を目途に水防災意識社会を再構築する取り組みを行っていきます。

平成27年9月

鬼怒川の洪水被害状況写真  
(国土交通省関東地方整備局資料)



被災状況(全景写真)



被災状況(拡大写真)

## 「水防災意識社会再構築ビジョン」とは

近年、**地球温暖化等の影響で施設の能力を超える水害などが多く発生**しています。特に「H27年関東・東北豪雨災害」では、家屋の流出や約4300人が救助されるなど、防災意識の向上が重要な課題となっています。

このため国土交通省では**洪水による氾濫が発生することを前提として社会全体でこれに備える「水防災意識社会」を再構築**するため「**水防災意識社会再構築ビジョン**」として様々な取り組みを平成32年度を目途に実施していきます。取り組みについては、大隅河川国道事務所、气象台、県、市町（鹿屋市、肝付町、東串良町）からなる協議会を設立しソフト対策、ハード対策を計画的、一体的に実施していきます。

大隅河川国道事務所のホームはこちらから  
防災情報など役立つ情報が満載です

<http://www.qsr.mlit.go.jp/osumi/>



\*肝属川に関する意見、質問、何でもどうぞ…  
〒893-1207 肝属郡肝付町新富1013-1  
大隅河川国道事務所 調査第一課（牧之内（マキノ））、柳（ヤナギ）  
tel:0994-65-2541 fax:0994-65-9630

## 「水防災意識社会 再構築ビジョン」等の防災関係取り組み

### ○肝属川重要水防箇所合同巡視を実施しました。（5月13日）

梅雨や台風シーズンを前に関係機関（气象台、自衛隊、警察、消防、NHKなど）の参加により水防を行う上で特に注意すべき箇所である重要水防箇所や危険箇所の巡視を行いました。

合同巡視は水防活動が迅速かつ的確に行えるよう各機関と合同で実際の重要水防箇所や危険箇所を巡視し確認を行うものです。



現地巡視状況

### ○「肝属川水防災意識社会再構築協議会」の設置（6月2日）

「水防災意識社会 再構築ビジョン」の取り組みとして関係機関（国、气象台、県、鹿屋市、肝付町、東串良町）と減災のための目標を共有し、ソフト対策・ハード対策を一体的・計画的に推進するために「肝属川水防災意識社会 再構築協議会」を設置しました。第1回目の協議会では、肝属川の現状や課題、各機関の減災に関する取り組みの情報共有と協議会として今後5年間でやっていくソフト対策、ハード対策の目標を確認しました。夏頃に開催予定の第2回協議会では各機関の具体的な取り組みなどについて話し合う予定です。



肝属川  
水防災意識社会再構築協議会

### ○「肝属川水防災関係連絡会」の開催（6月2日）

梅雨や台風シーズンを前に防災関係機関（气象台、自衛隊、警察、消防、NHKなど）と肝属川の洪水被害の防止・軽減等を目的として情報共有などを行う「肝属川水防関係連絡会」を開催しました。当日は、国が発表する防災情報のタイミングや改善点等について情報共有を行いました。



肝属川水防関係連絡会

## 「熊本地震」に対する大隅河川国道事務所の取り組み

熊本・大分地方では最大震度7を2回記録するなどした「熊本地震」が発生し、多くの犠牲者、家屋の倒壊や道路、橋梁、堤防などの公共施設が大きな被害を受けています。震災でお亡くなりになった方のご冥福をお祈りすると共に、被災された方が一日でも早く、元の生活に戻れるようお祈り申し上げます。

大隅河川国道事務所でも、地震発生直後の4月16日より熊本県の益城町や南阿蘇村を中心にTEC-FORCE、リエゾンとしてこれまでに延べ145人の職員を派遣し、被災箇所の調査や各市町村との連絡調整を行いました。また、当事務所が保有する照明車や給水車を派遣し、病院の早期再開に向けた点検作業支援の照明車運転や給水作業を行っています。

※TEC-FORCEとは緊急災害対策派遣隊のことで、大規模な災害が発生した場合にいち早く被災地に出向き、円滑な災害復旧や二次災害防止を目的に、被災箇所の調査や災害対策機器などで応急対応などを行います。

※リエゾンとは被災市町村に出向き、市町村のニーズの把握を行い、それを国土交通省の災害対策本部に伝達することで被災市町村の円滑な災害復旧を支援します。



熊本県益城町でのTEC-FORCEの活動状況  
（被災箇所の調査、復旧工法の現地指導を実施）



照明車による建物（病院）  
の点検作業の支援状況

# 今年も本格的な梅雨、台風シーズン到来です。 洪水から身を守るため、早めの避難を心がけて下さい。

日頃から防災マップなどから避難場所や避難経路の確認、またいざというときに備えて携行品を用意しておきましょう。

防災マップとは、河川氾濫等の自然災害が発生した場合に、住民の方々が安全に避難できるよう、避難時の心得や避難場所等の必要な情報を地図に重ね合わせて示したものです。

なお、同マップについては、みなさんがお住まいの地域の市役所・役場から各世帯へ配布されていることと思いますが、下記の窓口でも防災マップの閲覧が可能です。

自分自身や家族を守るための重要な情報がたくさん載っていますので、これからの梅雨時期に備えて、今一度ご確認下さい。



防災マップや水害ハザードマップは、市役所または役場へお問合せ下さい。

## 防災マップの閲覧窓口

- 鹿屋市役所 安全安心課 電話番号:0994-31-1124
- 肝付町役場 総務課 電話番号:0994-65-2511
- 東串良町役場 総務課 電話番号:0994-63-3131



## 携行品例



## 「防災情報」を入手して早めの避難を心がけましょう。

### 地デジによる河川防災情報

テレビ (NHK)

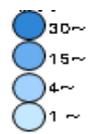


dボタンを押す

画面から

河川水位・雨量  
を選択して下さい

雨量は強さに応じて4段階の青の濃淡で表示



肝属川流域の河川名に合わせて下さい。(鹿児島県内では4/4です)

※アイコンの波の色や高さは、水位レベルに応じて変化します。

※テレビ (KYT) から dボタンで、肝属川の河川水位情報が見れます。

### インターネットによる河川防災情報の主な入手方法

#### 川の防災情報

利用者が、はん濫の危険性を知り的確な避難行動などに役立つように、利用者目線に立った新しい『川の防災情報』がはじまりました！

全国の「雨の状況」「川の水位と危険性」「川の予警報」などをリアルタイムで閲覧できます

- ・パソコン：<http://www.river.go.jp/>
- ・スマートフォン：<http://www.river.go.jp/s/>
- ・携帯：<http://i.www.river.go.jp/s/>



スマートフォン版 QRコード



#### 大隅河川国道事務所のHP

肝属川水系の「雨の状況」「川の水位」「カメラ画像」などをリアルタイムで閲覧できます。 パソコン、スマートフォン <http://www.qsr.mlit.go.jp/osumi/> 事務所HPのQRコード→



# きもつき川 水辺館



に寄ってみませんか？



きもつき川水辺館ではこんな生き物を展示しています！

## 春・夏を迎え、展示している生き物が増えました！！

きもつき川水辺館では、肝属川流域に生息している生き物を展示しています。暖かい季節を迎え、生物活動も活発な時期となりましたので、徐々に展示する生き物を増やしています。なお、最近追加した生物は、職員が川や山に入り捕獲したものです。梅雨期前でしたが「クワガタ」も捕獲することができました。



コクワガタ(平成28年5月王子町にて捕獲)



テナガエビ(平成28年5月始良川にて捕獲)



モズクガニ(平成28年5月始良川にて捕獲)



アメリカザリガニ(平成28年5月王子町にて捕獲)



タカハヤ(平成28年3月肝属川にて捕獲)



オオヨシノボリ  
(平成28年5月肝属川・始良川にて捕獲)

## ホタルが羽化しました！！ ～人工飼育成功～

きもつき川水辺館では、昨年より職員自らホタルの産卵・孵化に携わり、幼虫を飼育してきました。約30匹いた幼虫のうち、現在、5匹が羽化しています。これらのホタルは、昨年5月に鹿屋市吾平町で採取した親ホタルより産卵・孵化した幼虫を、夏場の水温・水質管理やえさであるカワニナの補給などに注意しながら一年間手間暇かけて成長させたものです。

なお、飼育にあたっては、和田井堰公園でホタルの保護・増殖活動されている王子町ホタルの会の指導をいただきました。



親ホタルに産卵を促す環境(平成27年5月撮影)



ゲンジホタルの幼虫(平成27年9月30日撮影)



羽化第1号のホタル♀(平成28年5月18日撮影)